



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP

上場取引所 東

コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 森田 正和

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成30年10月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	41,904	0.8	710		649		164	
30年3月期第2四半期	42,263	6.7	1,131	395.8	1,218	347.2	1,856	566.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,207百万円 ( %) 30年3月期第2四半期 2,091百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	3.71	
30年3月期第2四半期	41.69	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	67,166	30,990	41.5
30年3月期	70,529	32,978	41.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 27,846百万円 30年3月期 29,425百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	1.5	500	79.4	500	79.4	700	76.2	15.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 通期の営業利益については、費用としてのれん等償却費約16億円が含まれています。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	44,531,567 株	30年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	478,339 株	30年3月期	108 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	44,200,631 株	30年3月期2Q	44,531,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な雇用者所得による個人消費の持ち直し等、景気は緩やかに回復をしておりますが、一方で、通商問題や海外経済の諸問題による影響の度合いは不透明な状況であります。

当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行い、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでおります。なお、当社は、平成30年10月1日付で会社名を株式会社イマジカ・ロボットホールディングスから株式会社IMAGICA GROUPに変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は419億4百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業損失は7億10百万円（前年同四半期は営業利益11億31百万円）、経常損失は6億49百万円（前年同四半期は経常利益12億18百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億64百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益18億56百万円）を計上いたしました。

#### ②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

##### 1)映像コンテンツ事業

当第2四半期連結累計期間において、劇場映画は前年同期に比べ大型作品が減少したものの、TVCM制作案件の増加、TVアニメーション制作の堅調な受注により前年同期並みの売上となりました。営業利益については、アニメーション作品において、劇場版大型作品や本年4月スタートの新TVシリーズ作品、フルCG作品の制作コストが増加したこと等から、営業損失を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は106億97百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業損失は3億29百万円（前年同四半期は営業利益2億77百万円）となりました。

##### 2)映像制作サービス事業

TVアニメーション向けポストプロダクションサービスが好調に推移し、デジタルシネマサービス、デジタルネットワークサービス、並びに人材コンサルティング分野は堅調に推移したものの、TV番組向けポストプロダクションサービスにおいて、働き方改革に対応した作業体制の変更やTV番組の改編等により受注が減少した結果、売上高が減少いたしました。営業利益については、管理部門のコスト削減や設備投資見直しなどを進めているものの、売上減少に伴う粗利益減少を補うことができず、営業損失を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は132億66百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業損失は28百万円（前年同四半期は営業利益6億11百万円）となりました。

##### 3)メディア・ローカライゼーション事業

欧州地域のローカライズサービスの売上は順調に伸長しておりますが、映像配信プラットフォーム関連ローカライズサービスの受注が当初見通しを大きく下回ったこと、また競争環境が厳しくなっていること等により米州、アジア地域では減収となりました。

営業利益については、売上高減少に伴い、前期（平成30年3月期）の受注増に対応して拡充した制作体制の見直しを進めているものの、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は121億43百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業損失は8億28百万円（前年同四半期は営業損失25百万円）となりました。

なお、当該事業分野の業績につきましては、SDI Media Group, Inc. とその子会社の決算日が12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には平成30年1月1日～平成30年6月30日の6ヶ月間の実績を反映しております。

#### 4)映像システム事業

イメージング分野においては国内販売を中心に堅調に推移し、プロ用映像機器分野においては放送局を中心に販売が順調に推移しております。またLSI開発分野においても、引き続き中国向け映像・画像処理LSIの出荷が好調に推移しており、増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は67億4百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は6億71百万円（前年同四半期比52.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14億96百万円（3.8%）減少し、381億64百万円となりました。

これは主に、たな卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて18億65百万円（6.0%）減少し、290億2百万円となりました。

これは主に、投資有価証券及びのれん等の減少によるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて33億62百万円（4.8%）減少し、671億66百万円となりました。

#### ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億65百万円（2.4%）増加し、244億59百万円となりました。

これは主に、未払金及び賞与引当金が減少した一方で、その他の流動負債が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19億39百万円（14.2%）減少し、117億17百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13億74百万円（3.7%）減少し、361億76百万円となりました。

#### ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ19億88百万円（6.0%）減少し、309億90百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上と配当金の支払による利益剰余金の減少、及び自己株式の取得等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年7月31日に公表した数値を変更しております。詳細につきましては、本日（平成30年10月31日）公表の「業績予想の修正、特別利益の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,131,784	11,678,353
受取手形及び売掛金	18,415,035	14,551,436
たな卸資産	8,031,571	9,960,815
その他	2,142,656	2,016,474
貸倒引当金	△60,010	△42,550
流動資産合計	39,661,037	38,164,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,280,813	13,235,280
減価償却累計額	△9,380,072	△9,481,183
減損損失累計額	△77,124	△64,483
建物及び構築物(純額)	3,823,616	3,689,612
機械装置及び運搬具	12,173,703	11,914,874
減価償却累計額	△11,880,924	△11,646,246
減損損失累計額	△117,358	△109,269
機械装置及び運搬具(純額)	175,420	159,358
土地	2,943,085	2,944,295
リース資産	1,514,492	1,744,967
減価償却累計額	△599,989	△870,703
リース資産(純額)	914,502	874,263
建設仮勘定	99,593	41,466
その他	4,811,696	5,150,907
減価償却累計額	△3,171,570	△3,403,826
減損損失累計額	△7,372	△7,270
その他(純額)	1,632,753	1,739,810
有形固定資産合計	9,588,971	9,448,807
無形固定資産		
ソフトウェア	1,213,321	1,115,896
のれん	7,255,938	6,665,070
その他	5,163,572	4,772,364
無形固定資産合計	13,632,833	12,553,332
投資その他の資産		
投資有価証券	4,436,692	3,658,384
関係会社株式	614,858	644,862
敷金及び保証金	1,167,132	1,168,597
繰延税金資産	1,054,660	1,176,104
その他	488,717	458,263
貸倒引当金	△115,614	△106,032
投資その他の資産合計	7,646,445	7,000,180
固定資産合計	30,868,250	29,002,320
資産合計	70,529,288	67,166,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788,972	5,885,120
短期借入金	4,982,314	5,278,868
未払金	3,626,139	2,937,499
未払法人税等	711,802	377,652
賞与引当金	1,514,231	948,428
役員等報酬引当金	95,778	69,418
受注損失引当金	63,449	119,268
その他	7,111,729	8,843,427
流動負債合計	23,894,417	24,459,685
固定負債		
長期借入金	8,891,288	7,469,960
長期未払金	601,062	371,022
繰延税金負債	1,011,906	947,503
退職給付に係る負債	1,259,724	1,304,898
その他	1,892,742	1,623,685
固定負債合計	13,656,725	11,717,071
負債合計	37,551,142	36,176,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	15,190,725	15,188,696
利益剰余金	9,749,118	9,139,788
自己株式	△42	△489,753
株主資本合計	28,184,716	27,083,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,689,371	1,337,225
繰延ヘッジ損益	△388	1,007
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△433,870	△559,860
退職給付に係る調整累計額	3,942	2,750
その他の包括利益累計額合計	1,241,121	763,190
非支配株主持分	3,552,306	3,143,256
純資産合計	32,978,145	30,990,093
負債純資産合計	70,529,288	67,166,850

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	42,263,840	41,904,658
売上原価	30,727,333	31,404,935
売上総利益	11,536,506	10,499,722
販売費及び一般管理費	10,405,269	11,210,436
営業利益又は営業損失(△)	1,131,237	△710,713
営業外収益		
受取利息	2,212	1,531
受取配当金	26,165	24,414
持分法による投資利益	20,972	22,310
為替差益	58,133	62,379
その他	73,140	122,430
営業外収益合計	180,623	233,065
営業外費用		
支払利息	76,893	154,658
その他	16,359	17,046
営業外費用合計	93,252	171,704
経常利益又は経常損失(△)	1,218,608	△649,353
特別利益		
固定資産売却益	0	1,770
投資有価証券売却益	—	369,510
関係会社株式売却益	2,177,929	—
特別利益合計	2,177,929	371,281
特別損失		
固定資産売却損	165	24,293
固定資産除却損	8,295	10,463
減損損失	14,139	9,070
関係会社貸倒引当金繰入額	34,905	—
移転関連費用	—	18,500
その他	20,807	5,621
特別損失合計	78,313	67,948
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,318,224	△346,020
法人税等	1,570,170	281,926
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,748,053	△627,946
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,275	△463,931
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,856,329	△164,014

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,748,053	△627,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	502,341	△356,307
繰延ヘッジ損益	—	1,396
為替換算調整勘定	△158,208	△223,381
退職給付に係る調整額	△270	△1,192
その他の包括利益合計	343,862	△579,485
四半期包括利益	2,091,916	△1,207,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288,947	△641,946
非支配株主に係る四半期包括利益	△197,030	△565,485

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株を取得しております。また、平成30年6月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式21,769株を処分しております。

主にこれらの影響により、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が2,029千円減少、自己株式が489,711千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が15,188,696千円、自己株式が489,753千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,570,915	13,337,053	12,084,964	6,196,640	42,189,574	74,266	42,263,840
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	135,023	305,671	150,329	222,907	813,932	△813,932	—
計	10,705,939	13,642,725	12,235,294	6,419,547	43,003,506	△739,666	42,263,840
セグメント利益 又は損失(△)	277,217	611,147	△25,263	440,823	1,303,924	△172,686	1,131,237

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,686千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,080,200千円及びセグメント間取引消去△1,252,887千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,612,807	12,725,565	11,956,521	6,546,958	41,841,852	62,805	41,904,658
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,527	540,910	186,649	157,173	969,260	△969,260	—
計	10,697,334	13,266,475	12,143,171	6,704,132	42,811,113	△906,455	41,904,658
セグメント利益 又は損失(△)	△329,550	△28,253	△828,861	671,196	△515,469	△195,244	△710,713

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,244千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,002,382千円及びセグメント間取引消去△1,197,626千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。